

「ひと」分野

政策  
5

## 福島への新しい人の流れづくり

本県への移住・定住者数は、東日本大震災・原子力災害後に落ち込んだものの、その後増加を続けています。

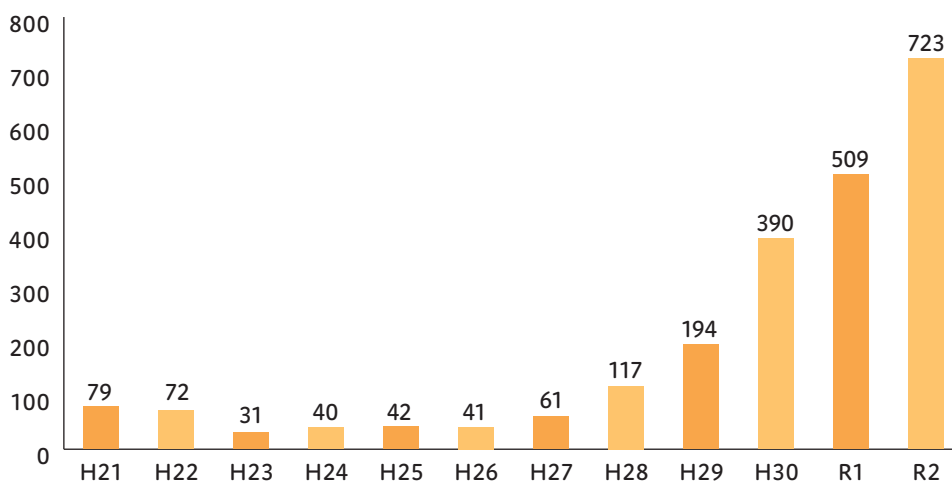
特に、若者の価値観の多様化等を背景に20代から40代の若い世代の移住者が増加しており、さらに、新型コロナウイルス感染症を機に、テレワークの普及などにより首都圏の若者を中心に地方移住への関心が高まっていることから、本県の首都圏との近接性や豊かな自然環境、子育てしやすい生活環境など、暮らしやすごとを始めとした総合的な情報発信と移住希望者のニーズに応じたきめ細かな相談対応が求められています。

また、東日本大震災以降、本県に心を寄せてくださる様々な皆さんと新たにできた“ご縁”を大切に、本県復興のシンボルである「ヴィレッジ」などの拠点も活用しながら、本県への新しい人の流れへとつなげていく必要があります。



移住体験ツアー

移住世帯数の推移



出典：県地域振興課調べ

## 施策

## 1

## ふくしまとのつながりの強化、関係人口の拡大

テレワーク・ワーケーション環境の整備や若者等への本県の魅力発信等に取り組み、ふくしまとつながりを持つ人の創出・拡大を図ります。



## 【主な取組】

## ①ふくしまとつながる機会の創出に関する取組

首都圏等の方が専門的な知識等をいかし地域の課題解決に共に取り組む機会や、テレワーク・ワーケーション等の体験機会など、ふくしまとつながる機会の創出を図ります。

## ②若者とふくしまとのつながりづくりに関する取組

進学や就職を機に首都圏等に転出した若者に本県の魅力を再認識してもらうとともに、福島を舞台に自分らしく活躍する先輩移住者の体験談を発信するなど、若者と本県とのつながりづくりを図ります。

## ③ふくしま応援団の方々との連携強化に関する取組

ふくしまを応援してくれる方々との連携を大切にし、本県への理解や共感の輪を広げ、関係人口の拡大を図ります。

## ④Jヴィレッジや震災以降に新設された各種拠点等を活用した交流人口拡大に関する取組

本県の復興のシンボルであるJヴィレッジや、東日本大震災・原子力災害伝承館、福島ロボットテストフィールド等各種拠点の利活用を促進することにより、浜通りの復興の加速及び交流人口の拡大を図ります。

## 施策

## 2

## 移住・定住の推進

暮らしの情報発信や移住に関するきめ細かな相談体制、住まいの取得に関する支援など、移住希望者を福島県に呼び込むための取組の充実を図ります。



## 【主な取組】

## ①移住・定住に係る情報発信に関する取組

本県ならではの多様なライフスタイルの提案など「ふくしまぐらし」の魅力を始めとして、仕事や住まい、子育て環境などの情報をパッケージ化して発信していきます。

## ②移住・定住に係る受入体制の整備に関する取組

地域の内と外をつなぐキーパーソンを発掘を進めるとともに、受入団体等によるネットワークの構築を支援するなど、地域ぐるみでの受入を促進していきます。

## ③移住・定住に係る相談体制の充実に関する取組

都内に設置する移住相談窓口を拠点として、県内外に配置する移住推進員や移住コーディネーターと連携し、交流から移住までの多様なニーズに沿った相談体制の充実を図ります。

## ④移住・定住に係る住まいの確保に関する取組

県外から県内への移住・定住を促進するため、良質な住宅の取得や必要な改修等への支援を推進します。

基本指標（成果指標）

< 政策 5 >

福島への新しい人の流れづくり

人口の社会増減	< 現況値 > < 目標値 >	△ 6,278 人 ↑ 0 人	(R2 年) (R12 年)
---------	--------------------	--------------------	-------------------

< 施策 >

ふくしまとのつながりの強化、関係人口の拡大

移住を見据えた関係人口創出数	< 現況値 > < 目標値 >	1,334 人 ↑ 6,884 人	(R2 年度) (R12 年度)
ふくしまファンクラブの会員数	< 現況値 > < 目標値 >	17,813 人 ↑ 21,300 人	(R2 年度) (R12 年度)

移住・定住の推進

移住世帯数	< 現況値 > < 目標値 >	723 世帯 ↑ 1,450 世帯	(R2 年度) (R12 年度)
移住ポータルサイトへのアクセス数（ページビュー）	< 現況値 > < 目標値 >	274,250PV ↑ 474,250PV	(R2 年度) (R12 年度)
都内の移住相談窓口における相談件数	< 現況値 > < 目標値 >	6,395 件 ↑ 7,400 件	(R2 年度) (R12 年度)
移住コーディネーターの活動件数	< 現況値 > < 目標値 >	3,115 件 ↑ 4,000 件	(R2 年度) (R12 年度)

補完指標

(指標名)	(現況値)	(目標値)
◆「ふくしまとのつながりの強化、関係人口の拡大」関連		
・J ヴィレッジの来場者数	R3 年度 4.6 万人 (R3.6月時点)	R12 年度 55 万人
・東日本大震災・原子力災害伝承館の来館者数	R2 年度 43,750 人	R12 年度 75,000 人
・包括連携協定に基づく連携事業・取組数	R2 年度 104 件	R12 年度 222 件
・地方創生に関する連携協定に基づく活動数	R2 年度 8 件	R12 年度 10 件
・県内外企業（ご縁企業）等との連携事業・取組数	R2 年度 9 件	R12 年度 10 件
・J ヴィレッジ全天候型練習場の利用団体数	R2 年度 138 団体	R12 年度 200 団体
・国内外の友人・知人に対して、自信を持って紹介できる地元のもの（自然、特産品、観光、文化など）があると回答した県民の割合（意識調査）	R3 年度 54.8% ※速報値	R12 年度 78.0% 以上
◆「移住・定住の推進」関連		
・空き家の活用等累計戸数	R2 年度 366 戸	R12 年度 1,000 戸